

【議論の要点のまとめ】

1. まちづくりセンター整備に向けた検討について

■まちづくりセンターのコンセプト

- 子どもが遊べ、お母さんたちがコーヒーを飲みながら休める、図書館やスターバックスのような屋内の施設。
- 町役場・広場・まちづくりセンターの一体的な利用。人が集まる仕掛けとして、広場の効果を上手く活かせると面白い。
- 公民館は「炉端」「お茶の間」という言葉でイメージできるような利用のされ方を目指されてきた。それを現代的な方法で実現できると良い。
- 時代によって変化するニーズに応えられる建築のあり方が重要。

■求める機能

- オープンなスペースも良いが、サークル活動、企業、学習を目的とした利用を考えると、ある程度個別の部屋も必要。
- 図書館(機能)は良い交流の場となると思う。
- 文化財の保管・展示をできるスペース。
- 水害への備え。

■ホール

- ホールの稼働率は、他の都市と比べて久御山の稼働率が低いが、公共施設として、稼働率が低いからと言って切り捨てることはしてはいけないと思う。  
⇒ 宇治市は、幼稚園・保育園の数が多く、これらがホールを借りて利用しているため、稼働率が高いのだと思う。
- ゆうホールは舞台(ステージ)が無いため、使い勝手が悪い。常設舞台・可動式椅子・音響設備が整った交響楽団を呼べるようなホールが欲しい。設備が整っていれば、多目的でも良い。
- お金がかかっても専用ホールが欲しい。既にある用途のものを作る必要はないと思う。現状音を出せる専用ホールがないため、子どもたちが夢を持って演劇やミュージカルを楽しめるような場所が必要。稼働率が低いのは、使えない施設だから使わないだけだと思う。

■子どもたちの遊び場

- 佐山、東角には図書館が近くにあり、休日過ごせる場所がある。小学生は校区外に子どもだけで行けないため、御牧にも屋根付きの遊べる場所があると良い。
- 子どもが幼いころはあいあいホールでの催し(ミルクサロン、ベビーマッサージ等)に車で参加し、

その合間にお母さん同士で交流をしていた。子どもが大きくなると、ポケットパークで遊んでいる印象。子どもが遊ぶ場所が不足しているという印象は少ない。雨が降ると屋根がないので遊べず困っている

- オープンで誰でも気軽に訪れることが出来る屋内公園というイメージにしたいが、民間事業者に運営を任せると時に事業運営が可能かどうかを懸念している。

#### ■既存施設(特にゆうホール)との役割分担

- サークル活動をゆうホールで実施しているが、部屋の数が充分ではないため、公民館に移して良いと思う。

#### ■「使い方」

- ヨーロッパの広場はよく使い、日本の広場は使われないと言われているが、しっかりとしたプログラムがあるかどうかの違い。使われる広場とするためのきっかけを作る仕掛け人が必要で、住民参加のあり方にもつながると思う。
- 若者と高齢者が交わるプログラムが必要
- 公民館講座が少ないため、新しい文化サークルが増加しなくなった。公民館講座のような魅力あるプログラムを増やせば、自然と稼働率も上がると思うので、プログラムの充実にも力を入れるべき。サークルで講習会等を開催し、サークル活動を活発化させるための取組も必要。
- 地元の公民館には、週に1回程度、英語教室や健康・子育てに関する講演会等、公民館に集まる理由となる催しがある。集まる理由となるプログラムも重要。

#### ■その他

- 最も長時間関わる現場の職員の声をよく聞く必要がある

### 2. インターネットアンケートについて

- アンケートに併せて、イメージが伝わる図があると良いと思う。子どもをターゲットにする場合は内容、言葉遣い、イラスト等への工夫が必要。
- 「何があれば行きたいと思うか/まちづくりセンターにどのような施設があれば行きたいと思うか」という設問があっても良い。面白いヒントが得られると思う。
- 「みんなのくみやまがっこう」と書いてあると、既に決定しているのかと戸惑ってしまう。  
⇒ 提案されたコンセプト。最終的には本検討委員会で決定する。アンケートは無しでも答えられる設問にすると良い。
- アンケートは、本日頂いた意見を踏まえ、町と座長と協議して決定する。

### 3. 今後のスケジュールについて

(省略)